

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL:0120-094-777 (通話料無料)
公告の方法	当社は以下のURLで電子公告を行います。 http://www.shizuki.co.jp/ ※事故その他のやむをえない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部

ご注意

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

『指月(シヅキ)』社名の由来

『指月』の社名は、創業者山本重雄が長州(現在の山口県)の出身であること、また幕末長州藩の一家家老として藩政改革で功を成した村田清風が先祖にあたることから、毛利家歴代の居城である萩城(指月城)から名をお借りしたのが命名の由来です。



株式会社 指月電機製作所

本社 〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号
TEL:0798-74-5821 FAX:0798-73-0807
URL www.shizuki.co.jp



株主通信

第88期 第2四半期報告書

平成27年4月1日～平成27年9月30日

メッセージ

先行きの不透明な状況下でこそ、
足場を固め、より強固な経営基盤を。

特集:シヅキのツツキ

産業用インバータ

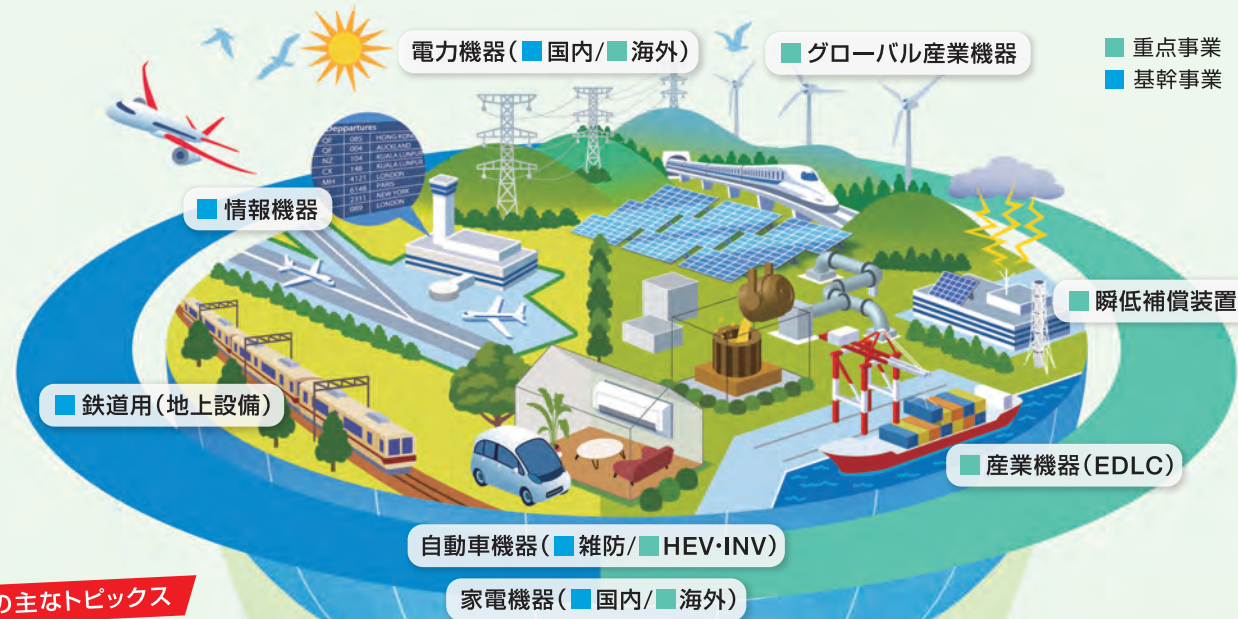


証券コード 6994 / 東証二部

株式会社 指月電機製作所



AIM2018 事業領域の11ドメイン



今回の主なトピックス

電力機器 (国内)

パワーマネジメント装置が“超”モノづくり部品大賞「環境関連部品賞」を受賞しました。

瞬低補償装置

電圧低下を検知すると瞬時に電源をバックアップし、製造装置の安定した稼働をキープします。

→ 詳しくはP7-P8をご覧ください

事業セグメント

- コンデンサ・モジュール
- 電力機器システム
- 情報機器システム

電気をマネジメントするさまざまな商品を開発・生産して、お客様に提供し、社会に貢献する。

指月総合マネジメントシステム JIS(シムス)

社員一人ひとりが「品質・コスト・納期」という経済的視点や、「再利用・負荷の減少・エネルギーの再生」という環境的視点を持ち、業務に取り組む。

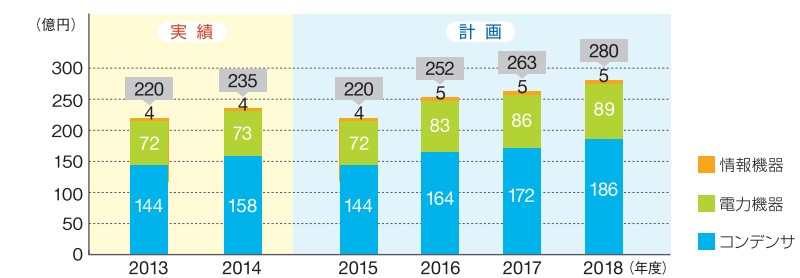
先行きの不透明な状況下でこそ、 足場を固め、より強固な経営基盤を。

第88期第2四半期は、電鉄車両分野をはじめとする中国向け関連のコンデンサが予想以上に減少したことなどを受け、半期ベースでは3年ぶりの減収減益となりました。市況に目を向けると、中国やアジアでは先行き不透明が強まっており、日本国内では自動車生産が減少傾向にある他、電力需要も前年割れが続いています。

一方で、明るい兆しも見え始めています。電鉄車両用コンデンサの生産が落ち込んだ九州指月では、下期に入り、電力設備用の直列リアクトルの生産が例年になく活況を見せています。国の取り組みにより学校や郵便局などの建物改修が増加していることや、高圧受電設備規定が改訂され、リアクトルの設置が義務化されたことなどが大きな要因であると考えられます。また、上期において、営業利益率は8.9%を確保し、自己資本比率も前期末から0.7ポイント増え75.7%と、高収益かつ健全な財務体質を堅持しております。

このように、決して順風とは言えない状況下においても、大きな影響を受けず、ひとつの商品が減速しても他の商品がそれを補い合えるような体制を、今後ますます強化していきたいと考えております。今回の半期決算をひとつの契機として、景気などの外的要因や、特定分野の商品の成績に依存しない、より強固な経営基盤を築いていく所存です。

中長期経営計画 AIM2018 売上高実績と計画



代表執行役社長 伊藤 薫



「多顧客限量」の追求。 小さな仕事の積み重ねが、 強い組織をつくる。

大量生産から、多品種少量生産へ。 大口顧客から、多顧客限量へ。

時代が大量生産から多品種少量生産へと移り変わるなか、シツキでは、お客様の多様化するニーズに合わせて商品を次々と細分化し、ニッチな市場をつくりあげてきました。一見、非効率的なものづくりに見えるかもしれませんが、競合他社でさえ参入を足踏みするような小ロットの商品を、多岐にわたって展開することで、独自性と競争力を発揮してきました。

この方法のもうひとつ大きな利点として、仮にひとつの商品を失注しても、他の商品群によってカバーできることが挙げられます。標準品を大量生産するようなものづくりでは、ひとつの商品を失ったとき、組織全体に与えるダメージが大きなものとなってしまいますが、多品種少量であれば、その影響を最小限に留めることができるのです。

また、お客様との向き合い方についても、同じことが言えます。一社の大口のお客様を求めるのではなく、できるだけ多くのお客様と小さな取引を重ねる「多顧客限量」のスタイルこそ、私たちにとって望ましいかたちだと考えています。

大きな風が必要な「大風」ではなく、 小さな風でも飛べる「連風」を目指す。

私が以前、ある経営者の方から聞き、感銘を受けた話があります。「大風と連風」という例え話をご存知でしょうか。時に、畳何十枚分もの大きさになる「大風」は、飛ばせば大きなインパクトがありますが、そのためには大きな風の力を必要とします。一方で、何十もの風が連なる「連風」は、一つひとつの風は小さいため、飛ばすために必要な風も小さくて済みます。しかも、その風の数を増やしていくと、合計面積で大風を上回ることも可能です。

企業にとって、「風」は自社の商品や事業、受注案件、それを飛ばすための「風」は、景気や市場の動向などの外的要因に置き換えて考えることができます。景気の風が勢いよく吹いている時は、大風を飛ばすことができるかもしれませんが、その風が吹かない時や止んだ時のリスクが大きくなってしまいます。連風のように、小さな仕事をコツコツと積み重ねていくことが、リスクの低減につながり、結果として大きな成果につながるという話です。「多顧客限量」を目指しているはずの私たちも、ともすればつい大きな案件に目を奪われがちであり、今回の中国向け電鉄車両用コンデンサのように、売上に大きく貢献していた分野が減速したことで、全体に影響を与えてしまいました。私は、この出来事を教訓として、「大風と連風」の話が示してくれる企業のあるべき姿に改めて立ち返って、外的要因の変化に耐えうる強固な経営基盤を築いていきたいと考えています。



より多くのお客様を求めて、より広い市場へ。 アジア・中国へのチャレンジ。

多顧客限量をさらに進めるうえで、今後は、より広い市場へと目を向けて、新たなお客様の掘り起こしていきたいと考えています。そのための取り組みのひとつとして、ベトナムの商社にインターンシップというかたちで社員を派遣し、現地のビジネスを学ばせています。グローバルに市場を切り拓いていける人材を育成するとともに、社員を現地企業へ派遣することによって、アジアとのネットワークをより強化するきっかけにもなれればと考えています。

また、中国においては、商流が変わりつつあり、これから国内調達の動きが進んでいくと見られています。しかし私たちには、新幹線向けコンデンサで培った実績をはじめ、一朝一夕では築けない技術と信頼性の蓄積があります。これまで共に歩んできた国内企業のみならず、関係性も大切にしながら、中国市場における新たなビジネスチャンスに挑んでいきたいと考えております。株主の皆様におかれましては、私たちの取り組みにご理解をいただき、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。





シツキから旅立ち、
社会を支えるコンデンサたち

vol.5 発電所からパイプライン、工場、エレベータまで。
インバータのあるところにコンデンサあり!

産業用インバータ

日本では、東日本大震災以降、「電気を大切に使う」という意識がさらに強まっています。世界に目を向けても、人口の増加や環境意識の高まりから、エネルギーの有効利用が大きく注目されています。そんな中、シツキのコンデンサが搭載されたインバータが、産業のさまざまなシーンで活躍しています。

インバータ制御を支える 平滑用コンデンサ

平滑用コンデンサは、電気を交流から直流に変換したときに起こる「リップル」という波を抑え、電流を滑らかにします。電流を安定させることで、インバータは電圧や周波数を自在に変換させ、電気のムダを抑えたり、機器を精密にコントロールすることができるのです。

電気推進船

エコシップの運航や荷下ろしをサポート!

環境にやさしい船として注目される電気推進船。スクルーを回転させるタービンの電源や、荷役クレーンのスムーズな制御のためにインバータが使われています。



新エネルギー発電所

自然のチカラを、人が使えるエネルギーに!

風力や太陽光からつくる電気は、そのままでは使えません。また、自然の変化に左右されて、電流・電圧が不安定になりがち。電気を使いやすく整えるときもインバータが活躍しています。



パイプライン

天然ガスや石油の
輸送をアシスト!

大容量のガスやオイルを遠くまで運ぶパイプライン。その輸送に使われるドライブ装置は、電気のムダがないようインバータ制御され、シツキのコンデンサも国内外で活躍しています。



直流送電施設

大容量の電気を、
大都市に届けるお手伝い!

発電した電気を、遠く離れた大都市までロスなく送りたいとき、直流の高電圧にして送るのが一番ロスの少ない方法です。その設備にも、コンデンサがたくさん使われています。



電鉄車両

人とモノを、
安全・快適・高速に運ぶ!

車両の床下に搭載されたインバータ装置が、電気の歪みを取り、滑らかに高速な走行を実現させています。シツキのコンデンサは、新幹線や海外の高速鉄道にも採用されています。



工場のドライブ装置

品質や生産性をコントロール!さらに省エネも!

工場の機器を動かすモータは、インバータ制御がもう常識。たとえば、紙やフィルムをロールで巻くとき、細かい速度コントロールで品質を守りながら、省エネにも貢献しています。



エレベータ

乗り心地よく、お望みの階まで!

最近のエレベータはとても高度に制御され、スピードやショックを感じずに、安心して快適に乗ることができます。その滑らかな運転を支えているのもインバータの働きです。





CSR

地域の方々へ向けて 初の会社見学を開催



兵庫県西宮市にある本社にて、近隣にある公民館の講座受講生の方々をお招きして、会社見学を開催いたしました。今回が初めての取り組みでしたが、募集開始から30分で定員20名が一杯となり、40代~80代の幅広い年齢層の方々にご来社いただきました。会社説明や工場見学を熱心に聴講していただき、次の開催を楽しみにしているという声もいただきました。地域住民のみなさまに私たちの事業へのご理解を深めていただくためのきっかけとして、今後もさまざまな取り組みを重ねてまいります。



PRODUCT

“超”モノづくり部品大賞 環境部門受賞



パワーマネジメント装置



シヅキの「パワーマネジメント装置」が、2015年“超”モノづくり部品大賞において、環境関連部品賞を受賞いたしました。この賞は、日本のモノづくりに寄与する卓越した部品・部材を募り、表彰するものです。「パワーマネジメント装置」は、エレベータやクレーンが下降するときが発生する電気を蓄え、“省エネ”や“停電時の電力供給”に利用する、次世代の電力制御装置。その環境性や災害対策への貢献を評価いただき、今回の受賞につながったものと考えています。今後も省エネに貢献する商品の開発を進めてまいります。



アクティブフィルタ

出すぞ！

んだ。さあ、今日も良い波働きが重要になっていくから、ますます僕たちの細かく電気制御されている最近では、いろいろなものが消すのが僕らの仕事だよ。波に、別の波を与えてしまうに悪い影響を与えてしまう「高調波」という、電気機器

懐かしいな。僕たちアクティブフィルタの一期生がシヅキから世に出たのは、今から25年も前のこと。

卒業生の手紙 ②
機器と暮らしを守るため、今日もアクティブに
アクティブフィルタ

国内随一のラインナップで、可能性を広げる

圧倒的なコンパクトサイズ。「瞬低補償装置」の新商品、登場

高度で繊細なものづくりを支える、瞬低補償装置

雷や風雪により起こる瞬時電圧低下(瞬低)といわれる現象。人間にはほとんど感知されない一瞬の電圧の変化でも、高度な制御を行っている機器には大きな影響を与え、製品の不良や生産ラインの停止、さらには納期遅れといった問題を招いてしまうことがあります。

こうした瞬低の問題から、大切な製品と製造装置を守るのが「瞬低補償装置」。電圧低下を検知すると瞬時に電源をバックアップし、製造装置の安定した稼働をキープします。シヅキは、「瞬低補償装置」の発売を開始して15年目。産業技術の分野で表彰も受けながら、その普及に努め、ものづくりの現場を瞬低から守ってきました。



半導体製造



フィルム製造



製薬

圧倒的なコンパクトサイズを実現。国内随一のラインナップを、さらに拡充

もともと大容量タイプからはじまったシヅキの「瞬低補償装置」。しかし、リーマンショックによる設備投資への足踏みや、お客様の生産ラインに合わせたサイズ展開などを考え、中容量・小容量タイプを次々と開発し、ラインナップを充実させてきました。一社で大容量から小容量までの「瞬低補償装置」を取りそろえているのは、今や国内でシヅキのみとなっています。

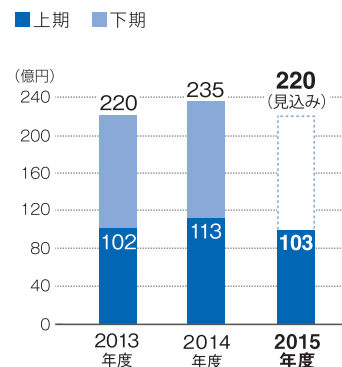
そして今回、そのラインナップにさらなる新商品が加わりました。「SAG-Backupシリーズ」のラック式タイプです。これまでにないコンパクトサイズを実現し、他の機器と一緒に汎用のラックに収めることも可能です。

「瞬低補償装置」の利便性と設置性をさらに高め、機器1台からの瞬低補償など、ますます活用シーンを広げていくと期待されています。

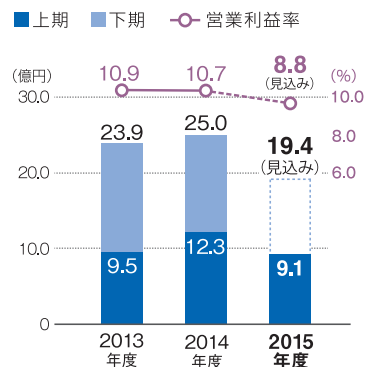
私たちはこれからも、国内随一のラインナップを活かして、より多くのものづくりを守り、支えていきます。



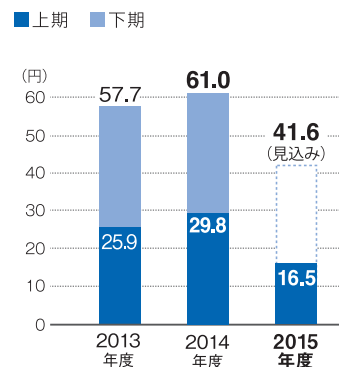
売上高



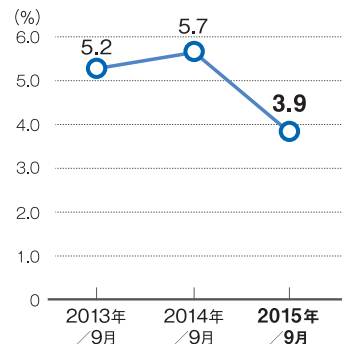
営業利益・営業利益率



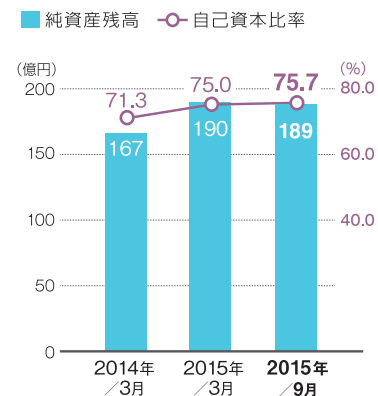
1株当たり利益(EPS)



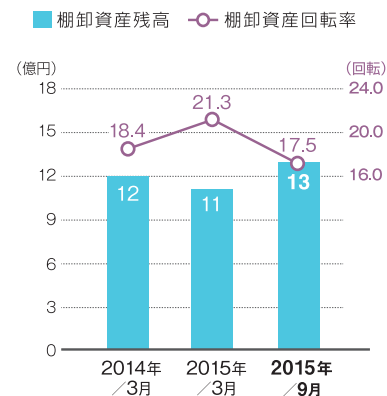
総資産経常利益率(ROA)



純資産残高・自己資本比率



棚卸資産残高・棚卸資産回転率



Point

業績面では一過性の要因もあり、前年同期比で3年振りの減収・減益となりました。
財務面では改善が進み自己資本比率は75.7%と、さらに安定感が増しました。

(注) 十百万円の位を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	第87期 第2四半期 平成26年9月30日現在	第88期 第2四半期 平成27年9月30日現在
資産の部		
流動資産	11,411	12,240
現金及び預金	4,933	5,925
受取手形・売掛金	5,019	4,642
棚卸資産	1,101	1,257
その他資産	357	414
有形固定資産	10,633	10,763
無形固定資産	33	35
投資その他の資産	1,733	1,956
資産合計	23,812	24,995
負債の部		
流動負債	3,841	3,793
固定負債	2,379	2,077
負債合計	6,221	5,871
純資産の部		
株主資本	16,537	17,595
資本金	5,001	5,001
資本剰余金	3,308	3,308
利益剰余金	9,462	10,528
自己株式	△1,235	△1,243
その他の包括利益累計額	887	1,333
非支配株主持分	166	194
純資産合計	17,590	19,123
負債純資産合計	23,812	24,995

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第87期 第2四半期 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	第88期 第2四半期 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
売上高	11,347	10,338
売上原価	7,869	7,261
売上総利益	3,477	3,077
販売費及び一般管理費	2,247	2,159
営業利益	1,229	918
営業外収益	155	129
営業外費用	41	64
経常利益	1,344	983
特別損失	-	326
税金等調整前四半期純利益	1,344	657
法人税、住民税及び事業税	436	241
法人税等調整額	16	△87
四半期純利益	891	503
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	24
親会社株主に帰属する四半期純利益	868	479

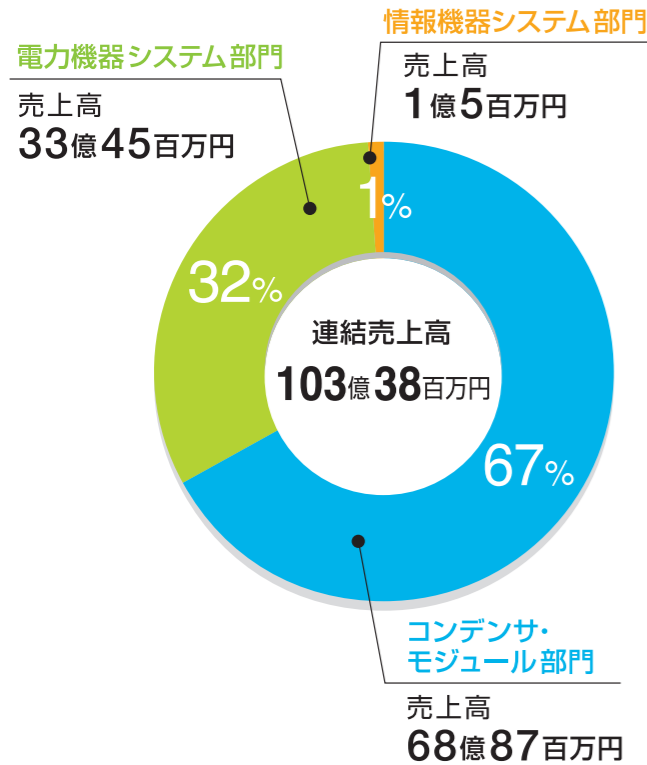
連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

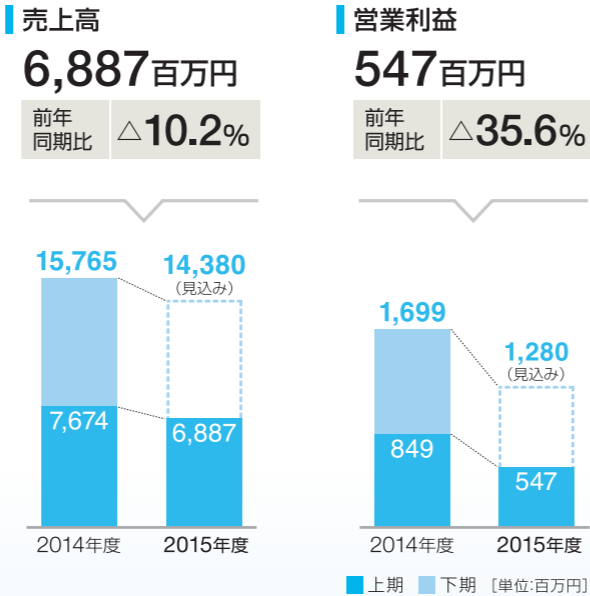
科目	第87期 第2四半期 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	第88期 第2四半期 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,422	898
投資活動によるキャッシュ・フロー	△607	△371
財務活動によるキャッシュ・フロー	△194	△194
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	△57
現金及び現金同等物の増減額	639	274
現金及び現金同等物の期首残高	4,293	5,651
現金及び現金同等物の期末残高	4,933	5,925

セグメント情報

■ 部門別売上高比率 (2015年9月)



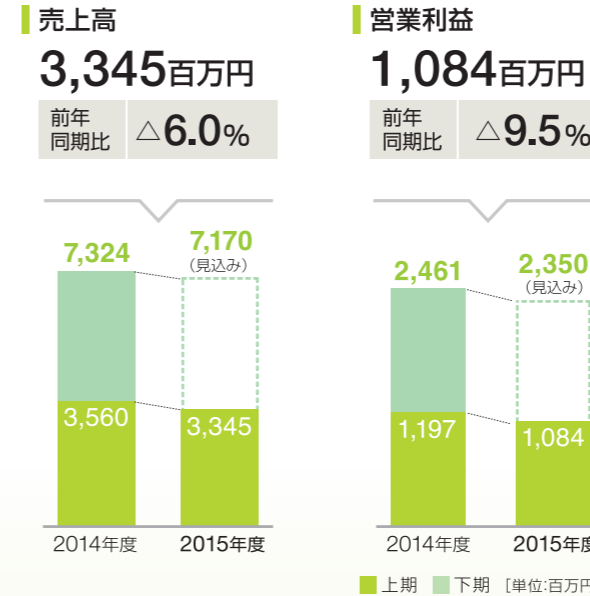
売上高構成比率 **67%** **コンデンサ・モジュール部門**



今期は中国向けの電鉄車両用コンデンサが大幅に減少しました。EV・HEV用では、納入車種の生産終息と新モデル発売による生産調整のため減少しましたが、PHEVの新モデルへのご採用や、海外の自動車電装品メーカーから受注を獲得するなど、将来への新たな取り組みもはじまっております。今後も開発・拡販を推進し、新規受注の獲得に取り組んでまいります。

ACフィルタ用コンデンサ
MAC-UM

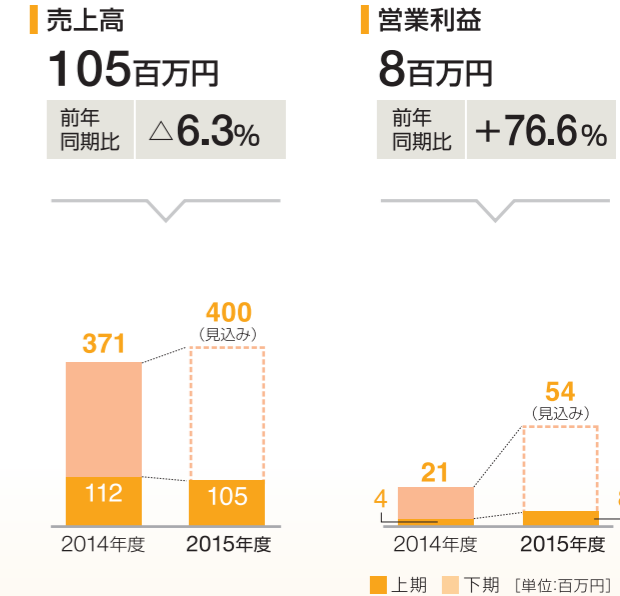
売上高構成比率 **32%** **電力機器システム部門**



瞬低補償装置について、小型化商品などのラインナップ強化と商流拡大により、UPS代替領域への販売が促進し売上が増加しました。一方で、電力品質改善装置と受電機器については、一定のシェアを維持したものの、前年同期にあった土木建設現場の高調波対策など特殊案件の獲得ができず、2013年度並みとなりました。今後は受注獲得とシェア拡大で売上増加を目指します。

瞬低補償装置
V-Backup400E

売上高構成比率 **1%** **情報機器システム部門**



バス車載用運賃表示装置と、バスロケーションシステム用表示装置を納入いたしました。バスロケーションシステムは、GPSなどを利用して位置情報を収集し、定時運行の調整などに役立てるシステムで、今後需要は拡大すると予測しております。お客様のニーズにあった商品開発とラインナップ拡充を進め、販売強化に努めてまいります。

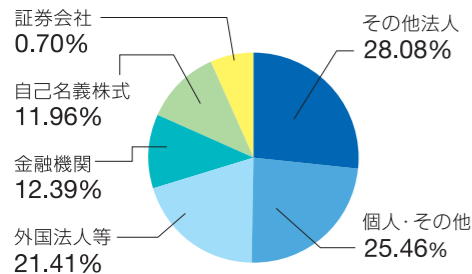
バスロケーションシステム用表示装置

※セグメント別の営業利益については、調整額△722百万円があります。(セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用)

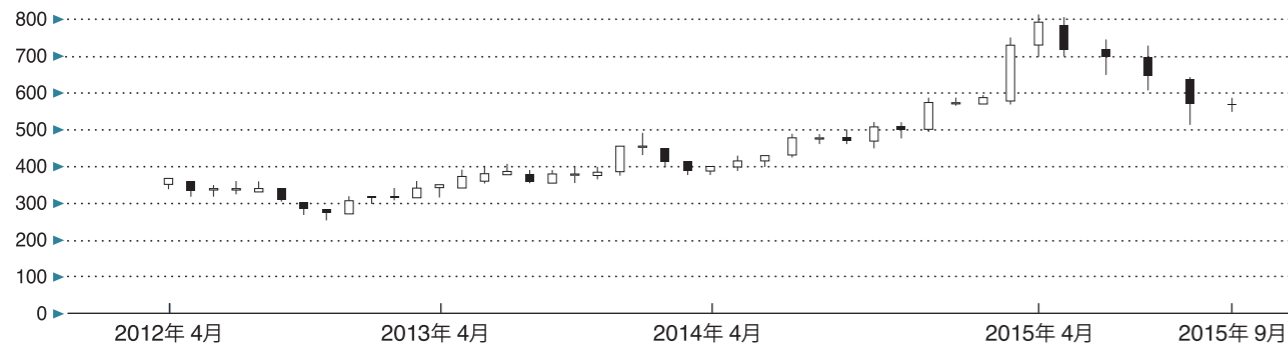
株式の状況

会社が発行する株式の総数	128,503,000株
発行済株式の総数	33,061,003株
株主数	3,516名

所有者別株式数分布状況



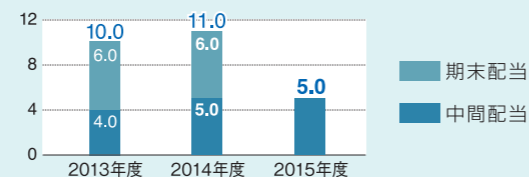
株価の推移(円)



当期中間配当金 1株当たり 5円

1. 期末配当金 1株当たり5円
2. 支払対象者 平成27年9月30日現在の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者
3. 支払開始日 平成27年 11月30日

1株当たりの配当実績 (単位:円)



大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
三菱電機株式会社	6,980	21.11
BNYM SA/NV FOR BNYM CLIENT ACCOUNT MPCJ JAPAN	2,943	8.90
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	1,307	3.95
株式会社りそな銀行	1,299	3.92
株式会社みなと銀行	925	2.79
指月協友持株会	808	2.44
NOMURA PB NOMINEES TK1 LIMITED	601	1.81
株式会社村田製作所	571	1.72
株式会社ノーリツ	560	1.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	558	1.68

会社概要

商号 株式会社指月電機製作所
 英文名称 SHIZUKI ELECTRIC COMPANY INC.
 本店所在地 〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号
 TEL:0798-74-5821
 ホームページ <http://www.shizuki.co.jp/>
 創業年月日 1939年 3月10日
 設立年月日 1947年 9月 1日
 資本金 5,001,745,595円
 グループ人員数 1,271名
 主要取扱業務 ■コンデンサ及び関連機器・装置
 ■電力機器・装置
 ■情報機器・装置
 の製造販売
 営業拠点 ●東京支社
 ●東京支店/関西支店/中部支店
 ●仙台営業所/日立営業所
 広島営業所/福岡営業所

役員

取締役

取締役会会長	伊藤 薫*
取締役	友松 哲也*
取締役	山本 則彦
取締役	増田 幹登*
取締役	鳥川 光春*
取締役	森 公利*

*は執行役を兼任 ※は社外取締役

執行役

代表執行役社長	伊藤 薫
専務執行役	足達 信章
常務執行役	谷口 義裕
常務執行役	友松 哲也
執行役	矢部 久博
執行役	小田 敦
執行役	藤原 健吾

生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
九州指月株式会社(福岡県)	300,000千円	100.0
秋田指月株式会社(秋田県)	300,000千円	100.0
岡山指月株式会社(岡山県)	200,000千円	100.0

販売・生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
アメリカンシツキ株式会社(米国 ネブラスカ州)	17,600千米ドル	100.0
指月獅子起(上海)貿易有限公司	250千米ドル	100.0
タイ指月電機株式会社(タイ バンコク)	33,000千バーツ	70.0